

じどうとしよしつだより



No. 105(2018. 10)

よんでみませんか 児童図書室がえらんだ本

まよなかかいぎ

浜田 桂子 作 理論社 2018.5
(資料 ID: 1111517699)

月がきれいなまよなか、ゆうきくんは、ぐっすりねむっています。すると、ゆうきくんのランドセルから、ふでばこ、ノート、したじき、カスタネットが出てきました。これから、かいぎをひらくのです。ゆうきくんが、学校での一日をどんなふうにごしたのかを順番に話していくのです。しっかりした字が書けたこと、間違えた字を消しゴムできれいに消したこと。ゆうきくんの成長をみんなが応援しています。

シロクマのしゅくだい

ティラ・ヒーダー 作 石津 ちひろ 訳
絵本塾出版 2018.7 (資料 ID: 1111538652)

シロクマについて知っていることを3つ書いてくるといふ宿題が出ました。テレビが気になるソフィーは、「すっこくおおい、なんかたべる、たぶんらんぼう」と書いておしまい。すると、オラファーという名のシロクマが突然現れ、ちゃんと自分の目で確かめるようにと、ソフィーを北極へ連れて行きます。シロクマの生態、北極で暮らす他の生きものたち、そして、北極で起こっている深刻な問題について、ソフィーは初めて知ります。

モンゴル大草原 800 年

イチノロブ・ガンバートル 文 バーサンスレン・ポロルマー 絵
津田 紀子 訳 福音館書店 2018.7 (資料 ID: 1111536101)

チンギス・ハンがモンゴル帝国を創り上げてから800年がたちました。800年前、モンゴルのある家族は、ゲルという組み立て式の家に住み、家畜を飼い、何度も移動して暮らしていました。その家族の子孫のモンゴルの人々は、馬に乗って世界を駆けまわり、他国を支配し、また支配され、社会主義の時代を経て、民主化されたモンゴルに暮らしています。モンゴルの波乱の歴史を、緻密な絵と共に紹介しています。

ひよこのピケキョ

ジャニー・ブライアン さく
ダニー・スネル え
ひこ・田中 やく
東京書店 2018.6
(資料 ID: 1111525387)

このほんをなめちゃダメ

イダン・ベン＝バラク 文
ジュリアン・フロスト 絵
福本 友美子 訳
PHP研究所 2018.5
(資料 ID: 1111515308)

このいえもむかしは

ジュリー・フォリアーノ 文
レイン・スミス 絵
青山 南 訳
BL出版 2018.7
(資料 ID: 1111534152)

アザハタ王と海底城

高久 至 しゃしん
かんちく たかこ ぶん
アリス館 2018.6
(資料 ID: 1111522705)

ガラスのなかのくじら

トロイ・ハウエル 作 リチャード・ジョーンズ 作
椎名 かおる 訳 あすなろ書房 2018.5(資料 ID: 1111520273)

クジラのウェンズデーは、まちの真ん中にある大きな水そうに住んでいます。ウェンズデーの楽しみは、水そうから飛び上がって、うんと遠くにあるあおいもの「ブルー」を見ることです。ある日、女の子がやってきて「あなたのほんとおうちは、ここじゃないわ」と言います。でも、ウェンズデーは、この水そうの中しか知りません。女の子と話したあと、ブルーを見たくてたまらなくなったウェンズデーは…。淡く、優しい絵から幸せとは何かを静かに考えさせられる本です。

ミジンコでございます。

佐藤 まどか 文 山村 浩二 絵
フレーベル館 2018.6 (資料 ID: 1111528146)

大きさが1ミリメートルしかないミジンコ。こんなに小さくてもエビやカコと同じ仲間です。池や湖に住んでいて、泳ぎが得意。からだがスルスルなので、食べたものの色が分かります。写真で見るとはたいてい横顔ですが、正面の顔を見たことはありますか？ ミジンコなんて私たちとは関係ないと思っているかもしれませんが、人の命とミジンコの命は、繋がっているんです。ミジンコ自身が解説してくれる楽しい本。

ムラサキダコ (ふしぎびっくり写真えほん)

中村 宏治 写真・文 奥谷 喬司 監修
フレーベル館 2018.7 (資料 ID: 1111538590)

島根県の島根半島にある小さな漁港沖泊(おきどまり)。そこでは夏から秋にかけ、ムラサキダコというふしぎな生きものが現れます。タコの仲間ですが、ふつうのタコとは全然違います。海面近くを泳ぎ回り、体長40cmのメスに比べて、オスは2、3cm。でも、もっと不思議なのは、漁師さんから「コロモ(衣)ダコ」とか、「ブランケット・オクトパス(毛布のタコ)」と呼ばれていること。その驚くべき理由は…。